

東芝キャリア株式会社 開発製品のご紹介 業務用ヒートポンプ 給湯機

新聞康博

しんま やすひろ 東芝キャリア(株) 技監

1. はじめに

弊社は'99年に(株)東芝の空調部門が分離し、米国の空調機メーカーであるキャリア社と(株)東芝の合弁により発足した家庭用、業務用空調機を主体とした製造会社である。現在新事業として業務用ヒートポンプ給湯事業を展開しているのでその概要をご紹介します。

日本はCO₂排出量削減に向け、京都議定書にて定めた目標値の必達を図るべく活動中である。

しかし、民生(家庭)、(業務)、運輸の3部門におい

てはCO₂排出量が顕著に増加している。民生(業務)におけるエネルギー消費量の中で給湯分野は約20%を占めているが燃焼式給湯機がほとんどであり、CO₂排出量の抜本的改善が厳しい状況であった。

弊社は空調の専門メーカーであるため、空調機で培ったヒートポンプ技術を最大限活用した高効率業務用ヒートポンプ給湯機を商品化することで上記分野のCO₂排出量削減に寄与すると同時にお客様の省エネ、省マネーにも寄与できると考え商品開発を実施した。

2. 商品化の推移

今日までの商品化推移を(図1)に示す。

04年3月にファミリーレストランやファーストフード店など1日の湯の使用量が2トン未満のお客様向けの給湯機として加熱能力が8、14kWの2モデル、貯湯容量が370~560Lのタンク3モデルをラインナップした“ほっとパワーエコBIGシリーズ”を発売した。

また12月には貯湯容量が1,120、1,680Lのタンクをラインナップに加え、夜間電力の一層の活用や、営業ピーク時間帯に使用できる出湯量の拡大を図った。

05年7月には上記商品を最大4台まで連結して使用いただける“ほっとパワーエコスーパーBIGシリーズ”を商品化して最大12トン/日の湯の使用を可能とし、中小規模の老人福祉施設や給食センターの需要に対応した。

07年4月には老人福祉施設、ビジネスホテル、工場などを対象とした1日に40トンの湯の使用までに対

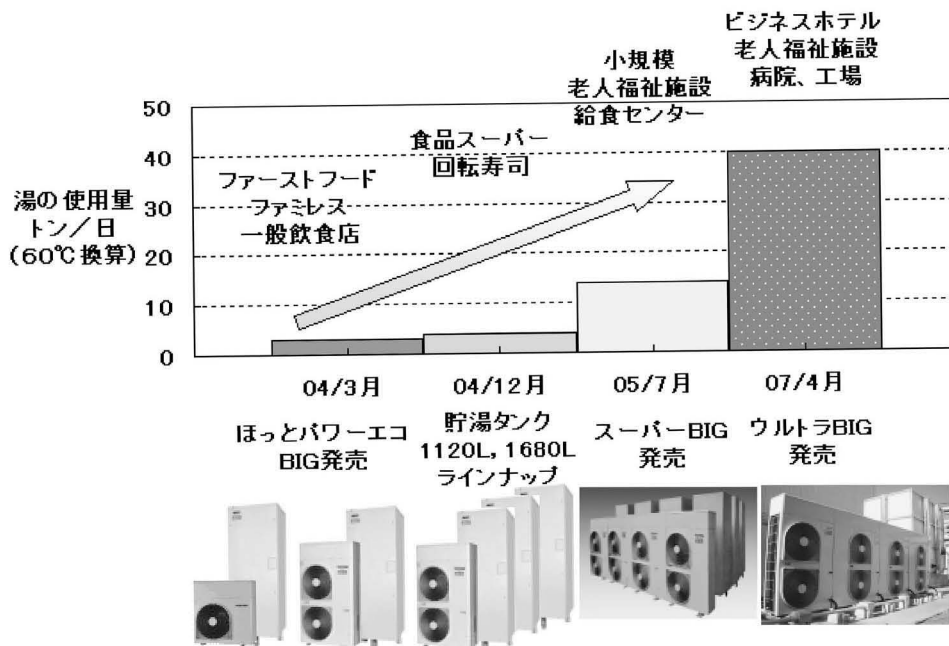


図1 業務用ヒートポンプ給湯機の商品化推移